

新型インフルエンザに関する沖縄の現状と対策について

沖縄県福祉保健部

1. 感染の状況

- ・ 県内では6月29日に最初の患者が報告され、7月22日までの全数把握期間中に143例が報告された。
- ・ その後、クラスターサーベイランスに切り替わり、9月4日までに集団発生が報告された施設数は415施設（保育所203、小学校62、中学校44、高校23等）に及んでいる。
- ・ 30週時点からA型インフルエンザのうち、95%以上が新型インフルエンザ（県衛生環境研究所の簡易A陽性111例中、PCR検査にてH1pdm陽性106例）となった。
- ・ インフルエンザ定点あたりの報告数も、6.00（30週）、11.79（31週＝注意報発令）、20.36（32週）、29.60（33週＝警報発令）、46.31（34週）と増加を続けていたが、35週に36.00と減少した（年代別報告数の推移は別紙1参照）。

2. 感染が全国に先んじて拡大している理由

- ・ 感染が一気に拡大したのが7月下旬以降と思われるが、その時期には天候もよく、若い世代の活動が活発であり、かつ、夏休みに入って学校の管理が行き届かなかったことが重なったのではないかと考えている。

3. 重症者の発生状況

- ・ 国内最初の死亡例が8月15日に発生した。その後、9月6日までに8例の重症患者（人工呼吸器管理または脳症）が発生している。
- ・ 入院の報告も増加傾向にある（入院サーベイランスでは48例となっている）

4. 医療現場で何が起きているのか

- ・ 多くの（軽症）患者が医療機関を圧迫している
 - ▶ 数多くのインフルエンザの患者が医療機関に押し寄せているため、救急告示病院を中心に年末年始のような忙しさが続いている。特に、休日夜間は救急病院に患者が集中しており、患者を分散する必要性が生じている。
- ・ 電話による相談が予想以上に施設の負担になる
 - ▶ 同時に、医療機関への電話での問い合わせも多く、病院業務に支障を来しているため、電話対応のための要員を確保しなければならない。
- ・ 重症者に適切な医療提供する体制の整備が急がれる
 - ▶ 重症患者を治療しているこども病院では、小児ICUに入院する患者が増えているため、通常は術後対応をICUで行っている心臓手術の症例を待機せざるを得ない状況になっている。また、同時に県内で4例～5例の小児重症例の発生が重なったため、対応できる病床やレスピレータ等の医療資源の不足が懸念された。

5. これに対してどのような対策を講じているか

A) 患者発生スピードを緩やかにするために

- ◇ 県民への予防啓発を強化するため、9月7日より30秒のテレビスポットCMを放映している（咳エチケット編、熱が出たら編、受診の工夫編）。
- ◇ 学校や保育施設等の集団発生の場合での感染拡大を抑制するため、一定の基準を示して場合に休業を要請している。

B) 患者の受診を分散させる

- ◇ 受診行動に対する啓発、熱が出たときの対応を上記のCMで周知
- ◇ 数多くの患者が一部の医療機関（救急外来等）に集中しているため、医師会に所属する医療機関に、休日・時間外診療の依頼を呼びかけ、一部の地域では開始されている←各地区で保健所と地区医師会、中核病院等の話し合いが重ねられている。

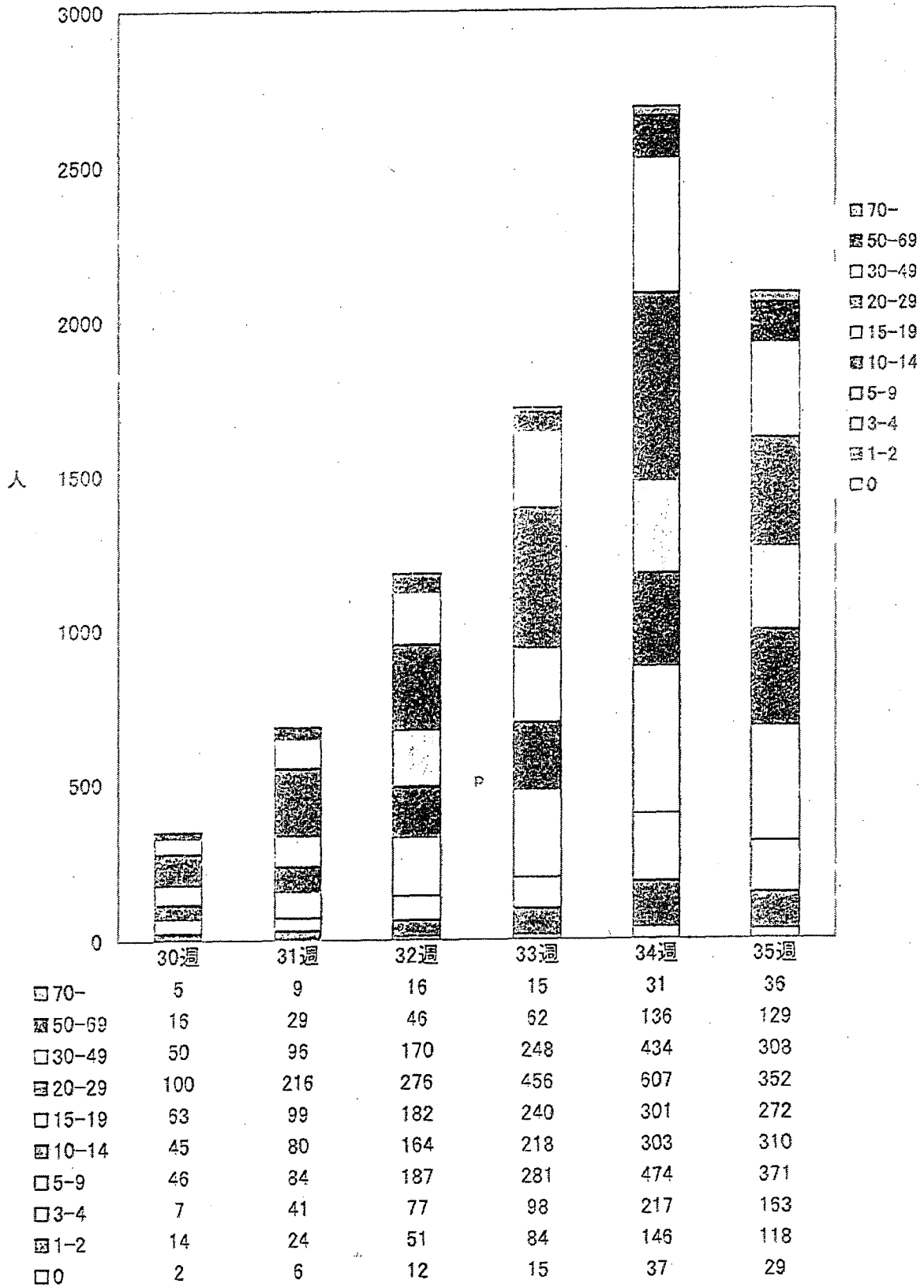
C) 医療機関の電話相談の負担を緩和させる

- ◇ 病院での相談対応を緩和するために、沖縄県看護協会に対してボランティア参加を要請して、基幹病院で時間外の電話相談を行っている。

D) 重症化を予防し、対応できる医療体制を確保する

- ◇ 小児のICU治療に必要な重症患者の受け入れ病床を確保するために、人工呼吸器の使用状況を把握する新型インフルエンザ小児医療情報ネットワークを構築した（8月25日～）（要項等は別紙2参照）。
- ◇ 透析医会、産科医会とともに、重症化防止のための体制整備について、検討を行っている。

沖縄県内の新型インフルエンザ年代別報告数



沖縄県新型コロナウイルス小児医療情報ネットワーク事業実施要項(暫定版)

第1 趣旨及び目的

沖縄県内での新型コロナウイルスの流行に伴い、重症患者の報告も増加してきている。新型コロナウイルスの重症例に関する沖縄県内の小児医療情報を集約し、関係機関に還元することによって、重症患者に対して適切な医療を提供することを目的とする。

第2 参加医療機関

県立北部病院、中頭病院、中部徳洲会病院、県立中部病院、琉球大学医学部付属病院、那覇市立病院、豊見城中央病院、沖縄協同病院、沖縄赤十字病院、県立南部医療センターこども医療センター

第3 実施体制

(ア)参加医療機関

参加医療機関は、新型コロナウイルスの重症例に関する情報を別紙1を用いて、毎日午後4時までに、福祉保健部医務課宛てFAXする

(イ)福祉保健部医務課

福祉保健部医務課は、収集された情報を集約し、別紙2を用いて、午後5時までに、参加医療機関、各保健所、県病院事業局県立病院課、県医師会に還元する

第4 実施期間

本要項は平成21年8月25日より開始する。ただし、状況の変化により随時見直しを行うものとする。

様式2 沖縄県新型インフルエンザ小児医療情報ネットワーク事業

各医療機関 担当者 様

沖縄県インフルエンザ重症例情報

平成21年9月 日()情報

沖縄県福祉保健部医務課

NO.	医療機関名 (電話番号)	小児の 人工呼吸器管理症例数		成人ICU 人工呼吸器管理症例数		備考 (当直など)
		インフルエンザ 陽性症例数	インフルエンザ 陰性症例数	インフルエンザ 陽性症例数	インフルエンザ 陰性症例数	
1	県立北部病院 (0980-52-2719)					
2	中頭病院 (939-1300)					
3	中部徳洲会病院 (937-1110)					
4	県立中部病院 (973-4111)					
5	琉球大学付属病院 (895-3331)					
6	那覇市立病院 (884-5111)					
7	豊見城中央病院 (850-3811)					
8	沖縄協同病院 (853-1200)					
9	沖縄赤十字病院 (853-3134)					
10	県立南部医療センター ・こども医療センター (888-0123)					
計						

連絡先 沖縄県医務課 系数 電話:098-866-2169
FAX:098-866-2714

